

A photograph of the Chenonceau Castle in France, featuring its iconic blue-tiled roof and multiple towers. In the foreground, there are out-of-focus purple flowers. The sky is overcast.

公式観光ガイド 2026

# シェノンソー城

シェノンソー・～から 19€

<https://chenonceau.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 公式料金



## 歴史 & エクスペリエンス

起源と歴史

### 婦人の城、歴史の舞台

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 49 767レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 3 234レビュー

シェノンソー城の起源は、13世紀の中世要塞にまで遡ります。百年戦争中に焼失したこの初期の姿から、現在残るマルク塔のみがその軍事的な過去を静かに物語っています。しかし、真の変革はルネサンス期に訪れました。トマス・ボワエとその妻カトリーヌ・ブリソンネが川沿いに新しい館を建てることで、この場所は戦略的要所から優雅な住居へと生まれ変わりました。

その後、歴史的な転換点となったのは1556年からの拡張工事です。ヘンリ2世の愛人ディアヌ・ド・ブアティエは、シェール川を横断する大胆な橋の建設を命じました。この構造物は単なる通路ではなく、兩岸を結び、城のスケールを劇的に拡大する象徴的な要素でした。石一つひとつに、彼女の権力と美意識が刻み込まれており、当時の政治的緊張感を反映しています。

ディアヌの死後、王后となったカトリーヌ・デ・メディシスが城を接收し、さらに壮大な変容をもたらしました。彼女は元の橋の上に二層のギャラリーを追加し、イタリア由来の建築様式を取り入れました。この重層的な構造は、彼女がディアヌの遺産を凌駕しようとする意図を示唆しており、石造りのライバル関係として後世に残されています。

フランス革命という危機的状況下では、ルイーズ・デュパンという女性の手により城は破壊から救われました。彼女の献身的な保護活動により、建築遺産は将来の世代へ受け継がれ、1913年からはメニエ家が所有して維持管理を行っています。今日私たちが目にする完璧な保存状態は、これらの女性たちの決断と情熱なくして存在し得なかったのです。

## 体験

敷地内に入ると、まずシェール川の穏やかな水面に映る城の姿が視界を支配します。朝日が差し込む時間帯であれば、石造りの壁が黄金色に輝き、静寂の中に神秘的な光が宿っているかのようです。風が運ぶ水の音と鳥の声だけが響く中、訪れる者は現代の喧騒から切り離され、ルネサンス期の時間へと引き込まれていきます。

城内を歩くと、各部屋ごとに異なる気質を持つ女性たちの痕跡に触れます。豪華な装飾品や絵画は単なる美術品ではなく、彼女たちの野心、悲しみ、そして権力を可視化したものです。特に橋の上にあるギャラリーを渡るとき、足元を流れる川と頭上にかかる天井の間に挟まれる感覚は、歴史の重みと建築の軽やかさが交差する独特の体験を提供します。



## 訪問の準備

## 実用的な情報

## 住所

Chenonceaux・Indre-et-Loire. トゥールからD910経由で主要アクセス。敷地内に無料駐車場あり。

## 営業時間

年中無休。冬季（11月～3月）は営業時間が短縮されます。訪問前に特定の日付をご確認ください。

## 料金

大人料金は19ユーロから。子供とシニア向け割引料金あり。オンライン予約推奨。

## 見学所要時間

おおよそ2時間をかけて城、象徴的なギャラリー、そして庭園を散策してください。ガイド付きツアーや現地での昼食を追加する場合は、より多くの時間を確保することをお勧めします。

## 写真撮影

庭園と城内の一部ではフラッシュなしで写真撮影が可能です。三脚の使用は、他の来場者に迷惑をかけないよう、事前の許可が必要です。

## 対象客層

迷路や広々とした緑地があり、家族連れにも適しています。歴史やルネサンス建築愛好家には特に魅力的です。車椅子利用者（PMR）およびベビーカー利用者のための部分的なバリアフリー対応を行っています。

## アクセス方法

## アクセス &amp; 交通手段



## バス

: シェノンソー - セントラル - 9 min à pied

トゥール・ヴァル・ド・ロワール空港 (123 min)・シェノンソ (11 min)



## 自動車

トゥールーズ = ヴアル・ド・ロワール空港 (99 min)・シェノンソ (5 min)



## バイク

トゥールーズ = ヴアル・ド・ロワール空港 (135 min)・シェノンソ (5 min)



## ウォーキング

シェノンソ (9 min)

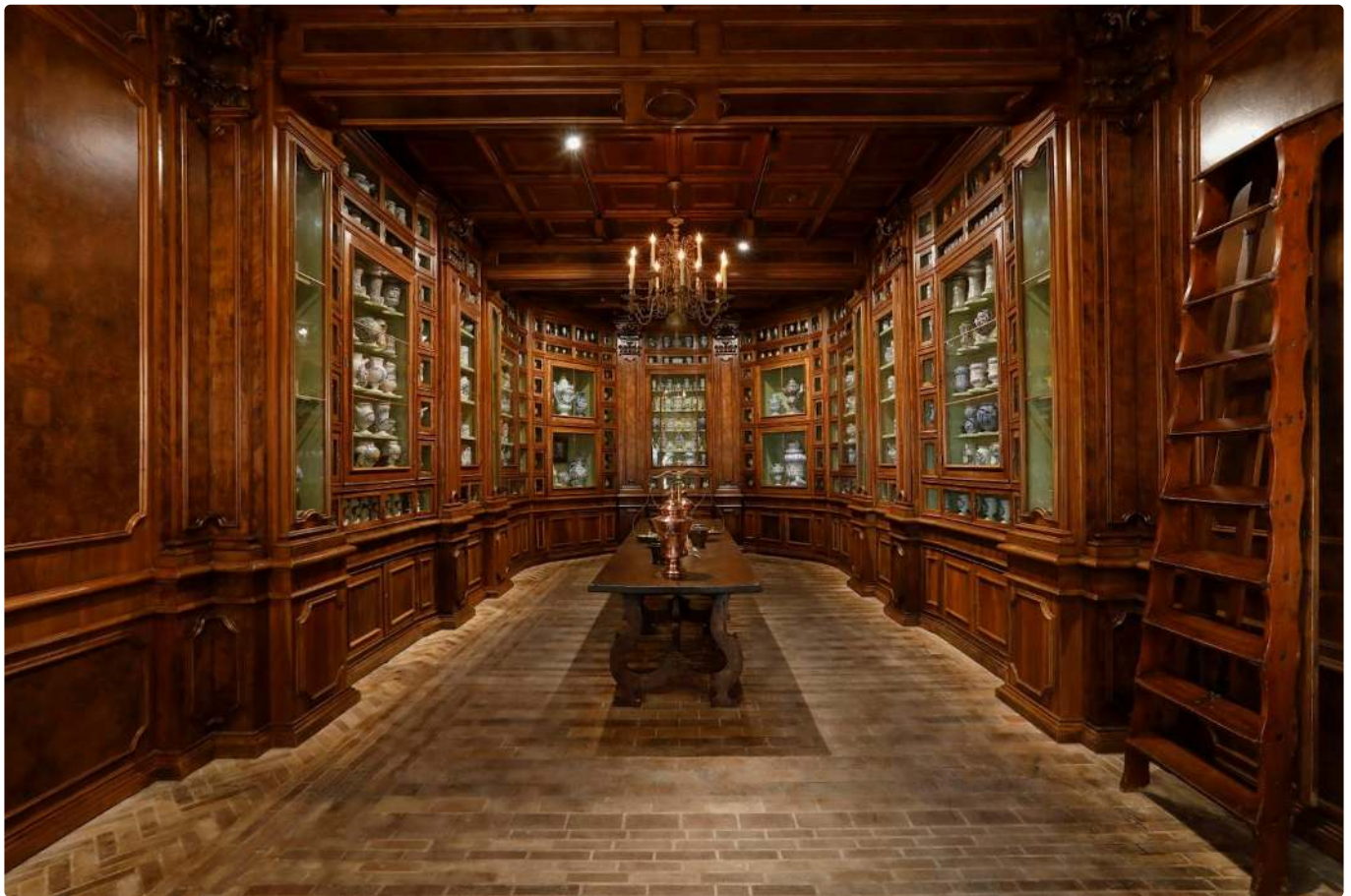
## LOCALISATION

## Où se trouve シェノンソー城？



📍 Chenonceaux — 37150 シェノンソー

🌐 47°19.492' N, 1°4.218' E



組織

## 城と庭園の散策ルート

### レベル0（本館と庭園）

ここには、カトリヌ・ブリソンネ時代の居室や、ディアヌ・ド・プアティエが使用していた寝室があります。広々とした庭園には、マダム・ペルウーズが設計した幾何学的な植栽が見られ、薬用植物や果樹が整然と配置されています。迷路もこのエリアにあり、家族連れにとって楽しいアクティビティとなっています。

### レベル1（橋上のギャラリー一階）

ディアヌ・ド・プアティエが建設した最初の橋の部分です。ここからはシェール川の景色を間近で見ることができます。壁面には、当時の貴族社会の生活を描いた絵画や、ディアヌに関連する衣装や小物が展示されており、彼女の影響力を実感できます。

### レベル2（橋上のギャラリー二階）

カトリヌ・デ・メディシスが追加した二層目のギャラリーです。より豪華な装飾が施され、王族的な威厳を感じさせます。窓からは対岸の森や川の流れを一望でき、建築的な高さと視覚的な開放感が調和しています。ここで撮影した写真は、城の象徴的なシルエットを捉えるのに最適です。

#### アクセシビリティ



##### 車椅子アクセス

庭園と1階への部分的アクセスが可能です。歴史的な階段や橋のため、大きな制限があります。



##### ファミリー向け

広大な庭園と迷路があるため家族連れに最適ですが、城内の見学にはある程度の集中力が必要です。



##### オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



## 必見スポット

選択

# 見逃せない8つの名場面

## 01

外観/橋

### シェール川にかかる橋

1556年から1559年の間に建設されたこの橋は、ディアヌ・ド・プアティエの意志によって実現しました。既存の建物を延長し、兩岸を結ぶ大胆な構造物は、今日のシェノンソー城のアイデンティティそのものです。石積みの技術と美意識が融合した傑作です。

💡 この橋は当初、敵対勢力からの攻撃を防ぐための防御策としても機能していました。戦略的価値と美的追求が同時に達成された稀な例です。

## 02

フィリベル・ドローム 橋上二階

### 二層構造のギャラリー

カトリーヌ・デ・メディシスを加えた二層目のギャラリーは、イタリアルネサンスの影響を強く受けています。重層的な構造により、城はシェール川を誇らしげに見下ろす壮大な姿となりました。窓からの眺望は息を呑むほど美しく、建築の完成度の高さを示しています。

💡 カトリーヌは、ディアヌの功績を覆い隠すように、このギャラリーを建設しました。女性のライバル関係が建築に刻まれた証です。

## 03

本館

### ディアヌ・ド・プアティエの寝室

ヘンリ2世の愛人が使用していた寝室は、16世紀の贅沢を体現しています。繊細なタペストリーや家具が、彼女の地位と美意識を物語っています。部屋全体が暖かみのある色調で統一され、親密な雰囲気を醸し出しています。

💡 ディアヌは、この部屋で王と多くの時間を過ごしたと言われています。秘密の場所としての側面も持ち合わせていました。

## 04

## 庭園

## 花の野菜園

フランス式庭園とは異なり、ここでは実用的な植物が栽培されています。薬用植物やハーブが整然と植えられており、ルネサンス期の医療知識や生活習慣を知る貴重な資料となります。緑豊かな空間は、メインギャラリーよりも静かで親密な雰囲気を提供します。

💡 これらの植物は、当時のお薬や料理に使われていました。自然の知恵が生きています。

## 05

## 本館一角

## マルク塔

13世紀の城塞遺構であるマルク塔は、中世の軍事起源を示す唯一の残骸です。他の部分とは対照的な粗野な石積みは、百年戦争中の破壊と再生の歴史を静かに語っています。ルネサンスの優雅さ以前の、荒々しい過去に触れることができます。

💡 この塔は、城がどのように変貌してきたかを理解するための重要な手がかりです。時間の層を感じさせてくれます。

## 06

## 橋上一階

## カトリーヌ・デ・メディシスの書斎

王后が政務を行っていたとされる部屋は、権力の象徴として装飾されています。壁画や彫刻は、彼女の知性と政治的野心を表現しています。窓からは川を見下ろし、領土を監視するような姿勢が伺えます。

💡 カトリーヌは、この部屋からフランスの命運を左右する決定を下しました。歴史の中心だった空間です。

## 07

## 庭園

## 迷路

子供から大人まで楽しめる遊び心あふれるエリアです。緑の壁に囲まれた道を進むと、発見の喜びがあります。文化的な見学のペースを変えるために理想的で、活発な休憩を提供します。家族連れには特に人気があります。

💡 迷路は、庭園デザインの一部として計画されました。遊戯と芸術の融合です。

## 08

## 情報パネル

## ユネスコ世界遺産登録

2017年にロワール渓谷と共に登録されたことは、普遍的価値の証明です。建築的・景観的な完全性が保護されていることを意味します。この名誉ある称号は、訪れる者に特別な責任感と敬意を抱かせます。

💡 登録により、保全 efforts が強化されました。未来への贈り物となっています。

## アドバイス

## 完璧な訪問のためのヒント

## TIMING

開門直後に到着してください。朝の柔らかな光が橋に当たるときが最も美しく、混雑も少ないため、静かに鑑賞できます。

## PARCOURS

まずは本館から入り、次に橋上のギャラリー、最後に庭園と迷路を回る順序がおすすめです。体力を分散させ、最後はリラックスして過ごせます。

## PAUSE

レストラン「L'Orangerie」で昼食を取ってください。事前に予約し、シェール川を望む席で洗練された料理を楽しみましょう。

## AUDIOGUIDE

ガイド付きツアーに参加するか、オーディオガイドを活用してください。ディアヌとカトリーヌのintriguesを理解するのに役立ち、建築の詳細を深く知る助けになります。

## BILLET

オンラインでの事前予約を強くお勧めします。特に夏場や週末は行列がしやすいため、待ち時間を回避し、スムーズに入場できます。

## PHOTO

対岸から城全体を撮影しましょう。シェール川の水面に反射する姿は、視覚的な思い出にとって不可欠な構図を提供します。

## ENFANTS

迷路と広大な庭園は子供たちに最適です。ただし、城内の階段が多いので、ベビーカー利用者は注意が必要です。

## CONFORT

快適な靴を履いてください。石畳や橋の横断を含むコースのため、安定した靴が重要です。数時間にわたって楽しむために、足元を整えましょう。



よくある質問

## よくある質問

### シェノンソー城の入場料はいくらですか？

大人料金は19ユーロから始まります。価格は季節や子供・シニアなどのカテゴリによって異なります。特に公園を含むコンボプランについては、購入前に公式サイトで正確な料金を確認することをお勧めします。

### 事前に予約する必要がありますか？

はい、特に繁忙期や週末にはオンライン予約が強く推奨されます。これにより、窓口での待ち時間を回避できます。見学日の一定期間前（通常24時間前まで）であれば、無料キャンセルが可能です。

### 割引特典はありますか？

団体、学生、多人数世帯向けの割引料金があります。お得な情報を得るために、ウェブサイト上の季節限定オファーをチェックしてください。地域住民は特定の特典を受けられる場合があります。

### 現地で購入できますか？

受付でチケットを購入することは可能ですが、窓口は施設の閉館時間より早く閉まる場合がよくあります。混雑時は長い待ち時間が発生する可能性があります。時間を節約し、時間帯枠を今すぐ確保するために、オンライン購入を優先してください。

### 平均的な見学所要時間はどのくらいですか？

おおよそ2時間をかけて、城と庭園を自分のペースで散策してください。もしガイド付きツアーや現地での昼食を追加したい場合は、半日ほど余裕を持って計画を立ててください。迷路も時間がかかる場合があります。

ご存知ですか？

## エピソード & トリビア

### 革命中の救助劇

フランス革命中、ルイーズ・デュパンがエステートを保護しました。彼女の行動により、城の完全な破壊を防ぎ、建築遺産を保存することができました。この勇敢な決断なくして、今日のシェノンソーは存在しませんでした。

### 失われた中世の起源

13世紀の最初の城塞は百年戦争中に焼かれ、壊滅しました。現在残っているのはマルク塔だけであり、サイトのルネサンス変貌以前の軍事起源の沈黙の証人です。この塔は、歴史の深い層を感じさせる重要な遺構です。

### 1913年からの家族所有

エステートは1913年以来、メニエ家が所有しています。この私有エステートは訪問者に開放されており、歴史的コレクションと見事な庭園への特別なアクセスを提供しています。長期的な視点による保全努力が評価されています。

### 「レディーズ」の愛称

異なる気性の女性たちによって建設・変容させられたことから、「レディーズ城（婦人の城）」という愛称で呼ばれています。キャサリン・ブリソネーからマダム・ペルウーズに至るまで、各女性の所有者はこの特別な場所に独自の痕跡を残しました。

## 博物館周辺

城の周辺には、ロワール渓谷の魅力をさらに深めるスポットが点在しています。まず訪れるべきはサン＝マルタン教会で、ディアヌ・ド・プアティエの墓があり、ゴシック様式の荘厳さを感じられます。食事中には、敷地内のレストラン **L'Orangerie**をお勧めします。シェール川を望む席から、洗練されたトゥーラン料理を楽しむことができます。また、近くにあるリュエルミューリンでは、昔ながらの水車小屋が農村生活博物館として活用されており、手工芸品の展示も見学可能です。これらの施設を巡ることで、城の文脈を超えた地域文化への理解が深まります。



シェノンソー城は、単なる観光地ではありません。それは女性たちの魂が結晶化した空間です。石垣に触れ、川風を感じながら、あなたが歩く每一步が過去の偉大な女性たちとの対話となるでしょう。この経験は、あなたの記憶に消えない芸術的感動を残すはずです。